

【特集】

第3種郵便物認可



立学園日秀明 逆転

男子5大会ぶり 埼玉栄

女子4大会ぶり2度目

男子団体が優勝した埼玉栄。(後列左から)岩井、斎藤、栗原(前列左から)佐藤、東

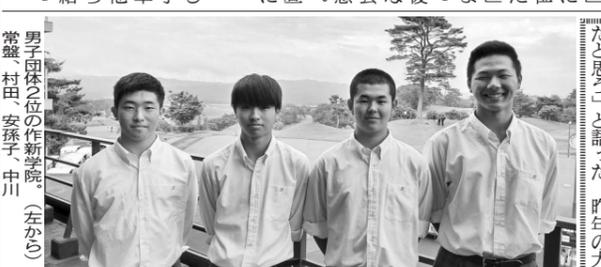
1番で強いティショットを放つ

順位	都道府県	学校名	学年	合計(1日目、2日目)
1	埼玉	埼玉栄	2	430(221、209)
2	埼玉	埼玉栄	2	433(217、216)
3	千葉	千葉明成	2	435(217、218)
4	東京	立学園日秀明	2	437(220、217)
5	茨城	茨城常盤	2	439(222、217)
6	茨城	茨城常盤	2	442(219、223)
7	茨城	茨城常盤	2	443(223、220)
8	茨城	茨城常盤	2	443(212、231)
9	茨城	茨城常盤	2	444(218、226)
10	茨城	茨城常盤	2	445(223、222)
11	茨城	茨城常盤	2	447(225、222)
12	茨城	茨城常盤	2	450(225、225)
13	茨城	茨城常盤	2	453(230、223)
14	茨城	茨城常盤	2	457(228、229)

埼玉栄は、全国常連校の意地を示した。第1日は首位の代々木(東京)と9打差の221で終えたが、この日は全員が猛チャージして209で回った。特に佐藤快斗と栗原遥大の2年生コンビが、3アンダーの69を叩き出し、大会ぶりの優勝を手繰り寄せた。栗原は「関東の先全国があるから、まずは1つ目標をクリアできて良かった。今日は自分たちが先輩を引っ張ることに集中した」と胸を張った。

全国常連校の意地、全員猛チャージ 2年生コンビ佐藤&栗原3アンダー

昨夜にはチームで個々のプレーを再確認し、最終日は「オーバーパーformance」と打縮めを目標に掲げた。しかし、昨午11位の不本意な結果が終わっただけに、全員で今年こそ「の気持ちでチーム力が高まるように、目標以上の結果を出したい」と意気込みを語った。佐藤は「優勝は、食事で、練習再開、競技中止も懸念されたが、やりきった。自分たちを信じよう」と屋敷を食しながら動揺せずに他校の結果を待った。昨午は全国大会5位で、女子が全国2連覇を達成しただけに、今年こそ「男子の全国制覇」を狙う。植草一成監督(46)は、その他部員約40人やスタッフらに感謝し「全国の舞台上で結果で恩返ししたい」と誓った。



男子団体の作新学院。(左から)常盤、村田、安孫子、中川

作新学院(栃木)は、2位の作新学院(栃木)は、埼玉栄に3打差で敗れた。第1日も2位で優勝を狙っていたが、あと一歩及ばなかった。村田圭梧主将(3年)は、2日間の合計が153と不調に終わった。「チームに迷惑をかけてしまった。申し訳ない気持ちでいっぱい。練習に取り組みできた。全国大会も地元栃木県内で開催される。この借りは全国の地で返す。さらに、個人の技術をチームワークを高めて全国一を目指したい」と、闘将は言葉に力を込めた。



男子団体3位の千葉黎明。(左から)鶴瀬、澤田、飯塚、大岩

千葉黎明は3位に食い込んだが、71、72の143と無難にまとめた。副主将の大岩慶高(3年)は「71、72の143と無難にまとめた。副主将の大岩慶高(3年)は」

立学園日秀明は、前半を終えて1日目の3位から首位浮上。2打差の2位に共立立学(東京)と、さらに1打差で埼玉栄が続いた。混戦模様で、降雨と雷雲接近のため午後2時前に中断。選手はクラブハウス内のレストランで待機した。中断前にホールアウトした平尾は、前半2パーディ1、1ホーリーの35、後半1パーディ、ノーホーリーの35トータル70、2アンダーで他の選手の結果を待つことになった。最終日は昨日のスコア(76)が良くなかったため今日はチームに貢献したいと思った」とスタートし

立学園日秀明は、前半を終えて1日目の3位から首位浮上。2打差の2位に共立立学(東京)と、さらに1打差で埼玉栄が続いた。混戦模様で、降雨と雷雲接近のため午後2時前に中断。選手はクラブハウス内のレストランで待機した。中断前にホールアウトした平尾は、前半2パーディ1、1ホーリーの35、後半1パーディ、ノーホーリーの35トータル70、2アンダーで他の選手の結果を待つことになった。最終日は昨日のスコア(76)が良くなかったため今日はチームに貢献したいと思った」とスタートし

立学園日秀明は、前半を終えて1日目の3位から首位浮上。2打差の2位に共立立学(東京)と、さらに1打差で埼玉栄が続いた。混戦模様で、降雨と雷雲接近のため午後2時前に中断。選手はクラブハウス内のレストランで待機した。中断前にホールアウトした平尾は、前半2パーディ1、1ホーリーの35、後半1パーディ、ノーホーリーの35トータル70、2アンダーで他の選手の結果を待つことになった。最終日は昨日のスコア(76)が良くなかったため今日はチームに貢献したいと思った」とスタートし

立学園日秀明は、前半を終えて1日目の3位から首位浮上。2打差の2位に共立立学(東京)と、さらに1打差で埼玉栄が続いた。混戦模様で、降雨と雷雲接近のため午後2時前に中断。選手はクラブハウス内のレストランで待機した。中断前にホールアウトした平尾は、前半2パーディ1、1ホーリーの35、後半1パーディ、ノーホーリーの35トータル70、2アンダーで他の選手の結果を待つことになった。最終日は昨日のスコア(76)が良くなかったため今日はチームに貢献したいと思った」とスタートし

立学園日秀明は、前半を終えて1日目の3位から首位浮上。2打差の2位に共立立学(東京)と、さらに1打差で埼玉栄が続いた。混戦模様で、降雨と雷雲接近のため午後2時前に中断。選手はクラブハウス内のレストランで待機した。中断前にホールアウトした平尾は、前半2パーディ1、1ホーリーの35、後半1パーディ、ノーホーリーの35トータル70、2アンダーで他の選手の結果を待つことになった。最終日は昨日のスコア(76)が良くなかったため今日はチームに貢献したいと思った」とスタートし

立学園日秀明は、前半を終えて1日目の3位から首位浮上。2打差の2位に共立立学(東京)と、さらに1打差で埼玉栄が続いた。混戦模様で、降雨と雷雲接近のため午後2時前に中断。選手はクラブハウス内のレストランで待機した。中断前にホールアウトした平尾は、前半2パーディ1、1ホーリーの35、後半1パーディ、ノーホーリーの35トータル70、2アンダーで他の選手の結果を待つことになった。最終日は昨日のスコア(76)が良くなかったため今日はチームに貢献したいと思った」とスタートし

立学園日秀明は、前半を終えて1日目の3位から首位浮上。2打差の2位に共立立学(東京)と、さらに1打差で埼玉栄が続いた。混戦模様で、降雨と雷雲接近のため午後2時前に中断。選手はクラブハウス内のレストランで待機した。中断前にホールアウトした平尾は、前半2パーディ1、1ホーリーの35、後半1パーディ、ノーホーリーの35トータル70、2アンダーで他の選手の結果を待つことになった。最終日は昨日のスコア(76)が良くなかったため今日はチームに貢献したいと思った」とスタートし

～以上、全国大会進出～

1	埼玉	埼玉栄	2	430(221、209)
2	埼玉	埼玉栄	2	433(217、216)
3	千葉	千葉明成	2	435(217、218)
4	東京	立学園日秀明	2	437(220、217)
5	茨城	茨城常盤	2	439(222、217)
6	茨城	茨城常盤	2	442(219、223)
7	茨城	茨城常盤	2	443(223、220)
8	茨城	茨城常盤	2	443(212、231)
9	茨城	茨城常盤	2	444(218、226)
10	茨城	茨城常盤	2	445(223、222)
11	茨城	茨城常盤	2	447(225、222)
12	茨城	茨城常盤	2	450(225、225)
13	茨城	茨城常盤	2	453(230、223)
14	茨城	茨城常盤	2	457(228、229)

(注) 順位は各校各日4人中上位3人の合計による

立学園日秀明は、前半を終えて1日目の3位から首位浮上。2打差の2位に共立立学(東京)と、さらに1打差で埼玉栄が続いた。混戦模様で、降雨と雷雲接近のため午後2時前に中断。選手はクラブハウス内のレストランで待機した。中断前にホールアウトした平尾は、前半2パーディ1、1ホーリーの35、後半1パーディ、ノーホーリーの35トータル70、2アンダーで他の選手の結果を待つことになった。最終日は昨日のスコア(76)が良くなかったため今日はチームに貢献したいと思った」とスタートし

立学園日秀明は、前半を終えて1日目の3位から首位浮上。2打差の2位に共立立学(東京)と、さらに1打差で埼玉栄が続いた。混戦模様で、降雨と雷雲接近のため午後2時前に中断。選手はクラブハウス内のレストランで待機した。中断前にホールアウトした平尾は、前半2パーディ1、1ホーリーの35、後半1パーディ、ノーホーリーの35トータル70、2アンダーで他の選手の結果を待つことになった。最終日は昨日のスコア(76)が良くなかったため今日はチームに貢献したいと思った」とスタートし

立学園日秀明は、前半を終えて1日目の3位から首位浮上。2打差の2位に共立立学(東京)と、さらに1打差で埼玉栄が続いた。混戦模様で、降雨と雷雲接近のため午後2時前に中断。選手はクラブハウス内のレストランで待機した。中断前にホールアウトした平尾は、前半2パーディ1、1ホーリーの35、後半1パーディ、ノーホーリーの35トータル70、2アンダーで他の選手の結果を待つことになった。最終日は昨日のスコア(76)が良くなかったため今日はチームに貢献したいと思った」とスタートし

立学園日秀明は、前半を終えて1日目の3位から首位浮上。2打差の2位に共立立学(東京)と、さらに1打差で埼玉栄が続いた。混戦模様で、降雨と雷雲接近のため午後2時前に中断。選手はクラブハウス内のレストランで待機した。中断前にホールアウトした平尾は、前半2パーディ1、1ホーリーの35、後半1パーディ、ノーホーリーの35トータル70、2アンダーで他の選手の結果を待つことになった。最終日は昨日のスコア(76)が良くなかったため今日はチームに貢献したいと思った」とスタートし

GO! TEAM SRIXON 第2弾
メジャー応援キャンペーン!

対象商品の購入期間
6/10 ▶ 7/31 ※応募期間 8/10まで

抽選で
プレミアムグッズが当たる!

株式会社ダンロップスポーツマーケティング
https://sports.dunlop.co.jp/golf/ 0120-65-3045